

2017年度 対象:小3~中3

# 中学生3/8,小学生4/6新学期開始

## <本科コース>

時間割および授業料

※授業料はすべて税込価格です

**入会金・冷暖房・維持費無料!**

小5	算・国・英	月・木 5:00~6:40	10,000円
小6	算・国・英	火・金 5:00~6:40	10,000円

※小5・小6は1教科から受けられ  
 <算国または算英> 8,640円  
 <算数1科または国英> 6,480円  
 <国語または英語1科> 4,320円  
 ます!

中1	英・数	月・木 7:00~9:40	18,360円
	国・理・社		
中2	英・数	火・金 7:00~9:40	18,360円
	国・理・社		
中3	英・数	水・土 7:00~9:50	19,440円
	国・理・社		

(注1)中3は9月から時間割が変わります。9月から翌年の2月までは週14コマになります。  
 なお、上記中3授業料は1学期のものです。9月からは、25,920円(税込)になります。

(注2)各クラスの定員は、小5は約8名、小6は約8名×2クラス。中学生は約10名×2クラスです。

(注3)和塾は自習室完備です。祝日を除く平日から土曜日まで開放しております。9月以降は部活を引退した3年生のために、日曜日も開放しております。自習室には常に講師がいます。

(注4)月途中のご入会は日割りを致します。授業内容は月替わりに合わせていきますので、思い立ったらすぐにお入りください。

(注5)和塾は、漢検・英検の準会場になっていきますので、2級まで塾内で受験することができます。

(注6)上のお子様がお中学生の場合、兄弟割引を行っています。

- ◆ まずは、お電話かメールでお問い合わせください。
- ◆ 重要項をお送りします。お申込は、電話・FAX・Mail(下記参照)でお申込ください。
- ◆ 体験授業も受けられます。必ず予約してからお出でください。

<千葉県認可>千葉県学習塾協同組合加盟塾/漢検準会場

1973年創立

# 和塾

千葉市花見川区検見川町3-320-17(検見川郵便局そば)

TEL 272-5564・FAX 272-4276

Eメール wajuku@bf6.so-net.ne.jp

## <小学生・個別“通い放題”>

対象	小3~小6
学習日	月・火・木・金
時間	4:30~6:30の間で、1コマ45分
科目	算数コース/理科・社会コース
授業料	1コース 1コマ限定 5,400円/月 通い放題 8,000円/月
	2コース 2コマ限定 9,720円/月 通い放題 12,000円/月
教材費等	算数コースの場合 3,000円/半期 理科・社会コースの場合 4,000円/半期 2コースの場合 7,000円/半期

(1)受講科目は、<算数/理科・社会>の中から選んでください。  
 <理科/社会>は1教科のみでもかまいません。一般的には学校の進度に合わせますが、それぞれ学力に応じて基礎・発展いずれにも対応します。前の学年に戻って学び直すことも可能です。ただし、中学受験に向けた授業はいたしません。

(2)1教科1コマ限定の方は、<月・火・木・金>の中から1日をお選びいただき、午後4:30~6:30の中で45分授業を行います(入室は4:30~5:45まで)。  
 2教科2コマ限定の方は、<月・火・木・金>の中から1日2コマ、ないしは1日1コマずつ2コマお選びいただけます(1日2コマの方は、入室は5時まで)。

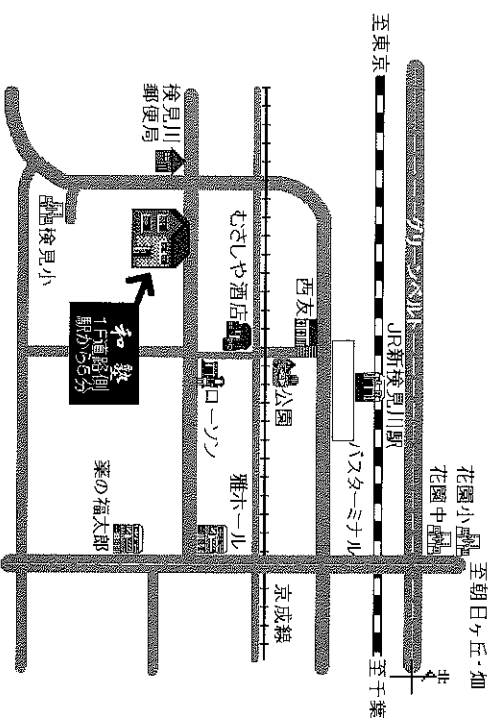
(3) <通い放題コース>

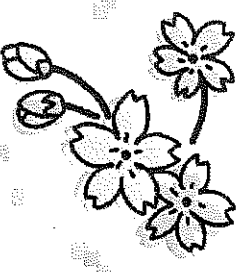
- ①1教科受講の方は、「必ず来る」というメインの日を1日決めていただき、残り3日も「来たいときはいつでも来る」ということができます(1日1コマまで)。最大、週4コマ取ることができます。
- ②2教科受講の方は、1日に2コマ取るメインの日を決めていただくか、1日に1コマずつ2日のメイン日を決めていただきます(1日2コマまで)。最大、週8コマ取ることができます。

### 28年度の進学先

※裏面に過去5年分の進学実績

<公立>  
 市立千葉、市立稲毛、幕張総合、千葉西(6名)、津田沼、磯辺、千葉北(2名)、千葉商業  
 <私立>  
 東海大浦安、千葉明德、敬愛学園、昭和学院





# 2/13・14は公立高校・前期入試！

## (1) 本年度の公立高校・入試日程

<b>前期選抜</b>			
<日程>	・検査 2月13日、14日	・発表 2月20日	
<選抜枠>	・普通科 定員の30～60%		
	・専門学科及び総合学科	定員の50～100%	
<b>後期選抜</b>			
<日程>	・出願日 2月23日	・志願変更 2月24日、27日	
	・検査日 3月 1日	・発表 3月7日	
<選抜枠>	募集定員から前期選抜の合格者を引いた人数		

## (2) 商業系・工業系等の専門学科は事実上一本化へ

専門学科・前期の選抜枠は、昨年度から、「50%以上100%以内」となりました。  
選抜枠を何%にするかは各高校の裁量に任されていますが、商業系・工業系・家政系等の専門学科はすべて100%にしています。事実上「入試の一本化(受験機会を1回にすること)」をしたということです。  
ただし、市立千葉の理数科と市立稲毛の国際教養は75%ずつと、理数系・英語系は29年度入試も普通科に準ずる形の選抜枠となりました。

## (3) 普通科の入試一本化は当面なし

ここ数年、「普通科でも一本化するのではないか」といううわさが、巷(ちまた)ではしきりと聞かれます。実際、埼玉県・神奈川県・茨城県などいくつかの県が1本化しています。  
しかし、千葉県では、現行の<前期・後期選抜方式>を現中2の受験年である30年度入試においても継続することが決まっています。

<b>30年度公立高校入試日程</b>			
<前期選抜>	検査 平成30年2月13日(火)/14日(水)	発表 2月20日(火)	
<後期選抜>	検査 平成30年3月1日(木)	発表 3月7日(水)	

入試制度の改革は、なるべく受験する生徒が中1の時点で、遅くとも中2の春の時点までには発表されることになっています。  
おそらく、一本化するとしても、30年4月に中1生になる現小5生からでしょうか。最遅で現小6生からですが、おそらくそれはないでしょう。

## (4) 2回入試と1回入試を比較すると...

それでは、現行の「前・後期選抜」と「一本化入試」それぞれのメリット・デメリットはどこにあるのでしょうか。  
現行のように受験機会が2回ある最大のメリットは、前期で挑戦校を受験することができることです。1回入試になれば、多くの生徒は“実力相応校”のみの受験とらざるを得なくなるでしょう。

それに対し、一本化することによる最大のメリットは後期で必要のない志願変更をしなくてもよい生徒が増えることです。  
「前・後期選抜」ですと、前期では定員の60%までしかとらないため、1回入試であれば合格している生徒も、不合格となることがあります。その結果、前期不合格者の中には、必要のない志願変更をして志望校を下げたり、併願の私立高校に決めたりする生徒も出ています。かわいそうですね。

また、一本化すると倍率が大幅に下がるというメリットもあります。例えば、昨年の千葉東高・前期選抜の実質倍率は2.91倍と非常に高い数字でした。受験者628名に対し、前期の定員が216名だったからです。倍率が高いということは、不合格者が多くなるということです。これが1本化すると前期で全体定員の360名まで合格になりますので、実質倍率は628÷360で約1.74倍まで下がります。

中学・高校サイトでは一本化を望む声が目立ちますが、教育委員会はなかなか動きません。結論が出るまでには、もう少し時間がかかるようです。

## (5) 前期入試の可否の決め方

前期選抜では入試における可否の選抜方法は各高校に任せられています。

(注)和塾のホームページの「情報BOX」に各高校の選抜方法が載っておりますので、詳しくはこちらをご覧ください。

ただ、おおむね<学力検査の得点(500点満点)>+内申書の合計(評定合計135点+α)+2日目の検査>の合計で決まると言てよいでしょう。「評定合計」というのは、1年から3年までの各教科の評定値(5・4・3・2・1)を合計したものです。各年次オール5とすると9教科で計45点、それが3年分で135点満点です。

「+α」の部分は、高校によって異なります。例えば市立稲毛高校は、<部活動、各種検定、各種コンクール>にそれぞれ10点満点で合計30点満点が加算されます。

「2日目の検査」は「面接・自己表現・作文・適性検査・学校独自問題」から1つ以上の検査を実施することとされています。実施する検査については、各高校が決めます。多くの高校が面接、作文を実施しています。独自問題を実施する高校は、現在ありません。

「2日目の検査」の採点の仕方も、各高校様々です。<ABC>の3段階で付ける高校が多いのですが、千葉西高校は面接で10点満点、千葉商業は自己表現で130点満点といった付け方をしています。

選抜方法が各高校に任されているため、変わった選抜方法を取る高校もあります。

例えば検見川高校は、特別活動(部活動や生徒会等)の記録等の評価点(20点)で順位をつけ、その中で学力検査の成績が予定人員の150%以内にある者をまず予定人員の約3分の1まで内定とします。残りは、<学力検査の得点+評定合計値>の総合計により順位をつけ、作文や面接の評価等を資料に、総合的に判定します。特別活動の成績を重視する選抜方法です。

ちなみに、後期選抜の可否は、原則として公立高校すべてで共通で<入試得点(500点満点)+評定合計値(135点満点)×K>で決められます。

なお、「K」は係数で、ほとんどの高校はK=1です。ただ、近隣では千城台と四街道北高校がK=2としています。この両校は内申重視、すなわち平常点を重んじるということです。

## H23～H27の5年間の和塾進学実績

<公立>県立船橋、葉園台、市立千葉、市立稲毛、幕張総合、千葉西、検見川、千葉女子、市立習志野、千葉北、磯辺、千葉商業、実綱、若松、柏井、四街道北、生涯、船橋法典、  
<私立>江戸川女子、日大習志野、国府台女子、千葉日大一、八千代松陰、日大一、東海大浦安、日大豊山、千葉敬愛、聖徳大付属、敬愛学園、千葉明德、千葉経済、東海大望洋、植草学園、千葉聖心